

平成21年度第4回兵庫労働局公共調達監視委員会議事概要

平成21年度第4回公共調達監視委員会を平成22年1月19日（火）に兵庫労働局16階中会議室において開催いたしました。

その審議の内容は下記のとおりです。

1 審査対象期間 平成21年10月1日～平成21年12月31日

2 委員長選出

互選により、滝澤委員を委員長に選出する。

3 公共調達審査会審議結果報告（公共調達審査会委員長）

平成22年1月12日に開催しました公共調達審査会は、委員3名の出席により、対象期間が平成21年10月1日から12月31日の間の契約締結案件12件を審議いたしました結果、全案件について、適正な処理であると判断いたしました。

4 抽出結果の報告（抽出担当委員）

抽出担当委員より、対象期間は平成21年10月1日から平成21年12月31日まで、審議対象案件は競争入札9件、随意契約3件の計12件となっており、全ての案件を対象とする報告がなされた。

5 対象案件の審議

競争入札案件9件について、事務局から、別表、公共調達監視委員会審議対象一覧表に沿って、各案件を説明。

委員 物品6番のデジタル印刷機の調達について、余りにも低い落札率であり業者としても赤字覚悟と思えるが、何か理由があるのですか。

局 機械の購入だけであり、保守契約もないため、当局としても理由が分かりません。ただし、当局には初参入ということで、市場を伸ばしたいということは考えられます。

委員 これは印刷機のみ機能ですか。

局 リソグラフで、落札業者は直接のメーカーです。

委員 リソグラフであればある程度安くなると思われるが、機能的には問題はないですか。

局 機能的には問題がありません。次の入札業者も同じ機種だったが、100万を超えていました。

委員 機械は5年間は使用することが前提となり、次の年にまた入札することはないと思いますが、今後、参入するためということになるのでしょうか。

委員 物品4番の商品仕分け訓練システム一式購入について、落札率が99%と高いが、この理由は。

局 1回目の入札が予定価格を超え不調となり、2者参加していた業者が1者に減り、2回目の入札を行った結果、ぎりぎりの金額で落札しました。通常のカatalog商品については

ある程度予定価格も立てやすいが、コピー機、印刷機だけは、かなり幅が大きく、予定価格設定が非常に難しいところがあります。

委員 今回、同じ業者が3つも落としているが、特殊なものなのですか。

局 市販のものです。

委員 企業努力ということですね。

委員 物品3番の官用車購入について、応札者が1者というのは、どのような経緯ですか。

局 インターネットによる公告もしており、機会としては公平に行っています。インターネット上の売値よりも安い価格に予定価格を設定しているため、業者としても割が合わない部分が大いと思われれます。

随意契約案件3件について、事務局から、別表、公共調達監視委員会審議対象一覧表に沿って、各案件を説明。

委員 工事2番の労働相談コーナー退去に伴う工事について、途中で退去した場合、何かペナルティはあるのですか。

局 契約内容のとおり、事前申請期限内に申し出ており問題等は発生していません。

6 審議結果（委員長）

本日、審議を行った案件について、特に不適切又は改善すべきと思われる点はなかったと思いますが、両委員ともご異議ありませんでしょうか。

（「異議なし」の声）

それでは、運営要綱第5条第4項のとおり、委員の多数をもって決したと認めます。

また、運営要綱第5条第2項により、本日の議事の概要は、これを公表（ホームページへの掲載）するとともに、審議内容を兵庫労働局長へ報告することといたします。

7 閉会